

戦評用紙

大会名	第64回山形県高等学校総合体育大会バスケットボール競技
-----	-----------------------------

日時	2013年6月9日10:30～	区分	高体連
----	-----------------	----	-----

チームA				チームB
山形南				鶴岡工業
85	27	1Q	11	74
	21	2Q	22	
	23	3Q	14	
	14	4Q	27	
		延長		

【戦評】

両チームマンツーマンディフェンスでスタート。立ち上がり山形南が速攻に対し、鶴岡工業がアウトサイドシュートで応戦。地力に勝る山形南が#5村上、#15前田のカットイン、ゴール下のシュートで徐々に点差を広げ27-11で山形南がリードで1Q終了。

2Q、鶴岡工業が2-2-1のゾーンプレスから3-2ゾーンにディフェンスを変え、互角の戦いを繰り広げる。山形南が#5のゴール下のシュート、鶴岡工業#8本間のジャンプシュート等、互いに厳しいディフェンスをかいぐりゴールを重ねるが1Qの点差が大きく48-33と15点差で前半終了。

3Q、鶴岡工業が2-2-1のゾーンプレスから3-2ゾーンで厳しいディフェンスを繰り広げるも山形南#7湊谷の連続3本の3Pで点差が広がる。鶴岡工業も#7三浦の速攻、バスケットカウントで応戦するも山形南#5の2P#15のリバウンドで点差が広がり71-47で山形南24点差で3Q終了。

4Q、鶴岡工業#10佐藤将の2P、#4渋谷の3Pで追い上げる。残り4分に山形南がメンバーチェンジをすると鶴岡工業が攻守に渡り力を発揮し、残り3分からオールコートプレスディフェンスを行い残り30秒には9点差までせまるも、時すでに遅く85-74で試合終了。

山形南の攻守に渡る力強さと鶴岡工業の必死のディフェンスと見ごたえのある試合展開であった。

戦評者

前田 俊明